

一吟徹心霊  
一曲能興国

錦友…第325号

(令和8年4月25日)

・編集・  
一般社団法人詩吟朗詠錦城会  
・発行・  
一般社団法人詩吟朗詠錦城会  
東京都港区麻布十番2-4-14  
電話:東京03-5484-3301(代)  
〒106-0045



### 一般社団法人詩吟朗詠錦城会の

### 事務局長として

一般社団法人詩吟朗詠錦城会

副会長・事務局長 金子城大

令和六年十月一日から一般社団法人詩吟朗詠錦城会総本部事務局長を拝命して一年五ヶ月が過ぎました。前任者の錦城会専務理事・総本部事務局長を、土師城皓先生が、平成二十三年六月から令和六年八月まで十四年間に亘り、重責を担って頂きましたが、ご都合により退職されました。長年のご尽力に対し感謝して厚く御礼申し上げます。

#### 一般社団法人

#### 詩吟朗詠錦城会の運営

その後を引き継ぎまして事務局長として、会員の減少を強く感じ対策を考えても思い当たらず、迷宮の中にいます。如何に

すれば、全師範・全会員を喜ばす事が出来るのか?そののみを追求しております。

湯河原・全国師範大会では宗家のご了承の下に「合吟」を取り入れた事。雄琴・全国師範大会でも「合吟」を取り入れた事。効果は、一体感を感じて合吟者が一つに溶け合う事や、通常は絶句一題だけ「合吟」であっても多く詠う事ができて、詠う喜びを感じたようです。また他の団体・日本詩吟学院等では、三名から数十名の合吟の発表が行われております。錦城会でも、プログラムの編成を考慮する必要を感じます。

詩吟朗詠錦城流二代宗家  
ご襲名五十周年に思う

二代宗家に初めてお会いしたのは、神奈川県桜木町にある会場で、他会の詩吟大会が開催され、流祖が招待吟詠に出吟される場所でした。四十才前後の穏やかな顔をした方の印象でした。

突然宗家になられ、ご苦勞も多かつた事と推察いたします。五十年を迎えられ誠におめでとうございます。ここに足跡を語らせて頂きます。

昭和五十二年(1977)流祖・山元錦城師の死去により、詩吟朗詠錦城流宗家は、長男(国光)が、二代目を襲名して、流

祖の意思を引き継いでから、令和八年(2026)で、四十九年を越える。その間、錦城会としては、法人設立を目指し、平成二年(1990)社団法人格を取得「社団法人詩吟朗詠錦城会」となり、最初の会長に就任する。その後、内閣府は、平成二十年(2008)の公益法人制度大改革を実施のため、社団法人詩吟朗詠錦城会は、一般社団法人詩吟朗詠錦城会に移行を選択して、平成二十四年(2012)四月一日に成立する。詩吟朗詠錦城流全国大会の開催は毎年行われ、大会の目的にある「特別番組」の出演発表と新作創作作りに当たる。それらの芸術作品が好評を得て、平成二十五年(2013)青柳正規文化庁長官より、我が国芸術文化の振興に貢献した事で「表彰状」を拝受する。平成二十六年(2014)四月二十九日、安部晋三内閣総理大臣より、日本国天皇よりの、多年文化芸術関係団体の要職に寄与した業績に対する「藍綬褒章」の勲章を拝受する。現在は、詩吟朗詠錦城流宗家として、全国宗範の指導、全国教授師範以上の指導、各地区昇格試験の実施、琵琶演奏者の育成等を行っている。日本伝統文化吟友会副会長として先頭に立ち、発展伸展のため奮闘する。

詩吟朗詠錦城流  
流祖五十回忌を迎えて想う事  
五十年前の九月二十五日、晴天の霹靂の如く旅立った流祖。流祖が日頃申して居られた言葉を思い出す。  
一、舞台上に成りなさい。  
二、芸術性をより高めなさい。  
三、一位を目指しなさい。  
四、嘘を着かない人に成りなさい。  
五、舞台上で死ねれば本望。  
等と、言葉を残して畳の上の大往生でした。今にしても、何十年後で在っても、耳の底に残っている声。私は忘れない。

#### 詩吟朗詠錦城流の魅力

最近の吟詠を聞いてみると全てが同じ節調に聞こえてきます。個性を感じません。錦城流は、  
一、四の音を出だして使っている事  
二、節回しが流暢である事  
三、声を張り上げる事  
四、転句で、七の音を長く伸ばす事  
五、結句で、節回しが、三から順番に上げ、五を少し伸ばし、  
六、七、六を伸ばす事  
六、節回しの特徴は、三を伸ばし、三半を少し伸ばして、三二半で止める事等。  
特筆すべき特徴を持っていません。(次頁に続く)

錦城流は最高です。語る様に詠いましょう。強弱を付けて詠いましょう。

ビクター吟友会に参加し支援

平成四年より「ビクター吟友会」を支援して、宗家と錦城会有志(本村錦香・城戸城濤・金子城大・西川錦流・竹崎錦里各先生方等) 共に入会しました。北海道地区・関東地区・中部地区・中国地区・九州地区と組織ができて、主行事の目的は、吟剣詩舞の全国コンクールに出場する錦城会会員を支援する事から始まりました。私は、自分の経験から、技量の上達を早める方法や機会として、コンクールの出場は、役に立つものと考えられています。会員の業績を機関誌「錦友」に載せる事に困って会員の士気を挙げ、上達を促す事に繋げる原動力になるものと確信しております。現在は、ビクター吟友会から、日本伝統文化吟友会と名称が変更となり、運営を続けております。吟剣詩舞コンクールの審査結果、吟詠の部・剣詩舞の部、それぞれに

に役立たせる。この目標に向かって挑戦される事を願っております。

今後の歩みとお願い

詩吟朗詠錦城会が発足して早七十三年を迎えております。三月の理事会において、全国大会の開催を隔年にする案や、会費値上げの案、が検討されており、事業の見直しや、維持管理費の見直し等、節約をする事を実現しなければなりません。今後の見通しは、建て難い状況ですが、事務局長として、努力をいたします。錦城会相談役、最高諮問委員、会長、副会長、専務理事、常務理事、理事、監事、参与、都道府県本部長、支部長、道場長、吟詠部長を始め会員の皆様方に、この厳しい現状をご理解頂きたくお願い申し上げます。

記事の訂正

①前号324号1頁3段目の中で「東京武道館」と記載されている会場名は「日本武道館」でした。

②新入会員の紹介の中で間違いがありました。

福沢支部↓稲沢支部に

彦根支部

稲本 誠↓稲木 誠に

流祖墓参

遅くなりましたが、ご報告いたします。

令和7年9月20日(土)、流祖の菩提寺である乗満寺(東京都世田谷区)にて墓参を行いました。例年、流祖のご命日の9月25日前後の土・日いずれかで行っておりますが、今年は、あいにくの小雨が降る中、東京都本部役員等総勢6名が参加しました。



墓前にお花とお線香をあげ、合掌した後、2題の吟を参加者全員で天高く台吟し、故人のご冥福をお祈りいたしました。

(東京都本部長 中野錦修)

◆新組織体の紹介◆

国際松濤館吟詠部(東京都) (再開)

◆新入会員の紹介◆

(12/16/3/31)

- 有田道場 池田栄次
稲沢支部 山田千榮
島原支部 平川里保
米原支部 大岡弘和
羽曳野支部 野口しのぶ
伊万里支部 力武文字
岡垣支部 浦塚秀寿
佐久道場 小林成美 松本富子

◆新師範の紹介◆

雅号 県名 取得年月
中野錦史 (東京都) 8・3

◆催事のご案内◆

(令和8年4月~9年3月)
◆本会主催 ◆本会後援

◆滋賀県湖南地区大会

・令和8年7月19日(日)
・能登川コミュニティセンター

◆錦城会全国大会

・令和8年9月27日(日)

・東京都大田区アプリコ

◆北海道道南本大会

・令和8年10月11日(日)

・函館市民会館

Table with 2 columns: 本部の動き (7.12.16より 8.3.2まで)

1月25~26日 大阪府本部の講習研修会と昇格審査

2月4日 東京都・神奈川県本部の昇格審査

21日 東京都本部の講習研修会

3月1日 佐賀県本部の講習研修会

16日 常務理事会

18日 理事会

令和8年全国大会の会場

今年の9月27日(日)に開催される全国大会は、東京都の大田区民ホール「アプリコ」の大ホールで開催されます。千人収容の大きなホールです。

JR蒲田駅から徒歩4分、羽田空港からも、新幹線で品川からも便利なところです。

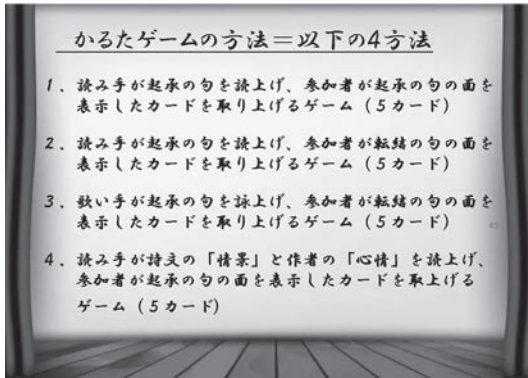
今からは非ご検討いただき、大勢の皆様のご参加をお待ちしています。少し早いご案内でした。



# 新春かるた大会と 県本部ホームページ及び YouTubeの活用について

〈かるた大会の様子〉

神奈川県本部における今年の初吟会は、吟詠プログラムの後に昨年にかけて漢詩かるた大会を行い、おおいに盛り上がりました。今年は40名を超える出吟者が参加し、40枚のカードを並べて、20枚のカードを取上げるゲームで腕を競い合い、漢詩かるたに馴染む雰囲気が出てきました。上（起承）の句を読み上げ、下（転結）の句を取るゲーム、また、詩文の情景と作者の心情を読みあげてカードを取上げるゲームは、なかなかハードな側面が見られましたが、参加者は楽しみながらも普段から漢詩文の内容への関心を持つことの大切さを学んだように思います。かるた大会のゲームの方法とスナップをご覧ください。



来年は、漢詩だけでなく、和歌のかるたも加えてさらに高度な遊び心を身につけて行こうと準備しているところです。私どもは、かるた大会が全国に普及していく事を願っております。

神奈川県本部は、会員増強の手段とすべく令和6年度にホームページを開設しました。それなりのアクセス数はあるのですが、成果はなかなか上がらない状況が続いております。そんな中、専務理事自らスマホを活用したショート動画の公開方法を

学び、昨年5月から県本部固有のYouTube、「カナギン錦城」を立ち上げ、これまで吟詠発表会における12名の吟詠をアップしてきました。初吟会における100歳近い方の吟詠スナップ写真をご覧ください。



それに加え、元会員の凄腕による写真映像に佐藤本部長自らの吟詠を添えて「現存天守十二城」を今年の1月からアップしております。1月は弘前城、2月は松本城を公開し、今年の12月まで順次全国の天守と吟詠を公開してまいりますので、こちらもご観賞下さい。私どもは、ホームページとYouTubeが有機的に結び付き、相乗効果を上げていくことを願っております。

（神奈川県本部専務理事 伊東城峯）

# 滋賀県本部湖東地区 令和八年初吟会を開催

令和8年1月18日、滋賀県本部湖東地区令和8年初吟会を「ひこね市文化プラザ・エコーホール」にて開催いたしました。この日は厳冬期にもかかわらず、朝から冬晴れの天候に恵まれ、地元彦根支部の会員のほか、故林田錦華先生が広められた長浜支部・野洲支部・大津支部・甲良支部から多数の会員が、受付開始より早い時間から来場され、皆さん初吟会を楽しみにしておられる様子が伺えました。



初めに滋賀県本部長の林錦枝先生（彦根支部長）からご挨拶をいただきました。「近年は会員数が減少していますが、長年精進しておられる皆さんにとっては詩吟が生きる力の源となっています。これを心に留めてこれからも皆さん頑張ってください。力強く熱いこもるお言葉に会場の皆さんが感動されたようでした。」



引き続き、林先生の指揮で「富士山」の大台吟のあと、金屏風

吟詠は無伝の方から順に総師範の先生まで、この日のプログラムは50題、出吟者は90名を超える会員により絶句・律詩での吟詠が披露されました。

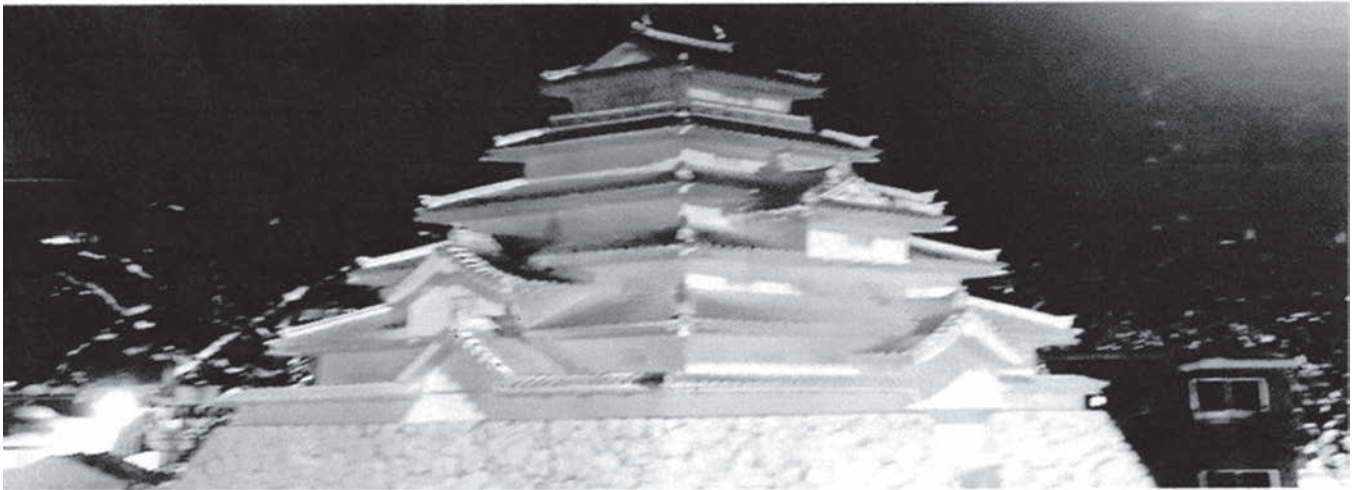
会場は、詩吟を愛し精進しておられる会員の生き生きとした表情、かつ心地よい緊張と気迫で、心に余韻の残る一日でした。

なお、彦根支部の事務局員の皆様には、この日までの準備と当日の運営に当たっていただき、お陰で無事終えることができました。改めて感謝申し上げます。

（彦根支部理事長 辻 城学）

令和8年2月11日

北海道道央本部長 本間城楓



(雪像) 会津鶴ヶ城

札幌大通り8丁目会場

第76回雪祭りが、今年も2月4日から2月11日迄華々しく行われました。目立ったのは上の写真会津鶴ヶ城の雪像です。何故ここに鶴ヶ城なのか。思うに幕末の戊辰戦争(1868年)の後、多くの会津藩の人々が追われるように北海道に移住しました。その人達とその子孫がこの地で苦労して、地域の発展に寄与したことを忘れないからです。

錦城流の教本5編に「白虎隊」の漢詩があります。16歳～17歳少年たちが炎上する城を見て、落城したと思い、自刃した話は、今も語り継がれています。

この雪像、自衛隊の第18連隊が制作しました。難攻不落の名城の作成に力が入った事でしょう。ただ国際情勢の緊迫化の中、今までの様な自衛隊の助力は難しくなっています。ともあれ冬ごもりしている人々を屋外に出す、住民にとって貴重な行事です。

皆さん元気にお過ごしですか。雪の中の選挙も終わり、104代目となる初の女性の宰相が圧倒的多数で承認されました。女性の議員も増え、世の中は少し変わるかもしれません。札幌の雪まつりは年によっては雪が足りない時もありますが、今年は有り余る雪が降り、逆に市として排雪予算を追加しなければならない羽目になっています。開催中は、真っ白な綺麗な雪でした。

## 会員増強のための声かけ推進標語 **まずは あなたから 声かけを**

### 編集後記

朝、忙しく新聞の見出しだけをばらばらと見る私の新聞の見方は、一生懸命に取材して、文章にして編集して印刷に回している筆者にとっては、腹立たしい読者なのかもしれません。しかし、ふっと目につく記事は、真面目に読んでいます。先日朝日新聞の一面に目を引く記事があったので、紹介しようと思います。

「折々のことば」より

D どうにか

I いっしょに

Y やっていいこう

工藤夏海

D I Yといえは「ドウ・イツト・ユアセルフ」(自分でやってみよう)だが、仙台市で喫茶店を営む美術家はこんなステッカーを配る。何でも一人で構えずに、仲間と手を携えて潜り抜けること。うんと離れていても頼りにしあえる人がいれば、少々ダメなところがあっても何とかなる。いざという時に当てにできる人がいる人は強い。

### お知らせ

来年から錦友4月号は、発行されなくなり。1月号の次は、7月号となりますが、投稿された原稿は、必ず掲載いたします。ご理解・ご協力をお願いします。(S)